

プログラミング学習

12月16日(水)、6年生が理科「電気の利用」の学習でプログラミング学習に挑戦しました。今年度、本校は、富山県総合教育センター主催の「小学校の情報活用能力の育成に関する調査研究」に協力しています。教科の学習にプログラミング学習を取り入れ、論理的に考える力を付けるための授業を開発する取組です。

今回は、クリスマスツリーやホテル、アニメキャラクター等のカードに差し込んだ豆電球の通電をコンピュータで制御するプログラムをつくりました。子供たちは、「ピーカ、ピカピカ、ピカッと光らせよう」などとイラストに合う光らせ方を考え、自分のイメージ通りに点滅を制御させようと試行錯誤しながら、動作や時間等の命令を組み合わせていました。来年度も引き続き調査研究に協力しながら、プログラミング学習に取り組んでいく予定です。



シイタケ菌打ち

12月3日(木)、5年生が立山花とみどりの少年団の活動でしいたけの菌打ちをしました。森林組合の方からキノコ類の特徴やシイタケの育て方を教えてもらった後で、菌打ちに挑戦しました。

子供たちは、初めての作業にドキドキしながら慎重に電動ドリルを使い、原木に穴を開けました。「電動ドリルが重くて大変」「菌をまっすぐに入れて打つのが難しい」という声が聞こえてきました。1年後の収穫が楽しみです。

なかよし班活動「絆タイム」

水曜日のわくわくタイムに毎月1~2回、「絆タイム」があります。縦割りの「なかよし班」のメンバーと一緒に遊ぶ時間です。12月の絆タイムは全ての班が外で雪遊びをしました。降りしきる雪の中、膝までの雪をかき分けグラウンドに駆け出す子供たち。仲間と一緒に思い切り遊びました。

下級生が歩きやすいよう道を踏み固めて進む6年生や、遊んだ後で校舎内に雪を持ち込まないように下級生のジャンパーに付いた雪を払ってあげる5年生の姿を見かけました。ランチルームの入口から児童玄関まで長靴を横にして両手で持って運んだ1年生は、廊下が濡れないように配慮したのでしょうか。みんなのことを考えるやさしい行動が身に付いているのを感じました。「絆タイム」には、子供たちが思いやりを行動に移すチャンスがたくさんあります。これからも、そんな子供のよさを見つけて認める声掛けをしていきたいと思えます。



ランチルームからマルチパーパスにつながる廊下には、企画運営委員会の子供たちが呼びかけ、全校児童が心の温まる互いの言動を認め合い、紹介し合う「ぽかぽかの花」が掲示されています。年末に「絆ループ」の文字が浮かび上がりました。今後、この文字がさらに太くなっていくのが楽しみです。